リカバリーとOS選択起動ディスクについて

ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。

リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデーターを外部メディア（USBメモリー、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデーターを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。

データーのバックアップ
↓
リカバリーの実行
↓
データーの復元

本書では、リカバリーの実行方法のみ説明します。データーのバックアップ、データーの復元方法については、ユーザーズガイド**2**をご参照ください。

注意

リカバリー中は、電源を切らないでください。

リカバリーの種類

リカバリーには、「ハードディスクリカバリー」と「OS選択起動ディスクを利用したリカバリー」の2種類があります。

ハードディスクリカバリーは、プリインストールされているWindows7をリカバリーできます。
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーは、インストールするOSを選択する事ができます。
Windows 7(32bit)⇔Windows 7(64bit)
Windows 7(32bit)⇔Windows XP(32bit)

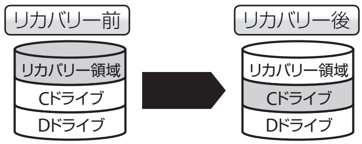
ハードディスクリカバリーでは、「標準モード」と「高度モード」の2種類を選択できます。
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーでは、「高度モードの②」のみが使用できます。

Windows XPがインストールされている場合、ハードディスクリカバリーはできません。OS選択起動ディスクを利用したリカバリーをご利用ください。

■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデーターがすべて消えます。消えたデーターは復旧できないので、あらかじめデーターのバックアップをとりましょう。

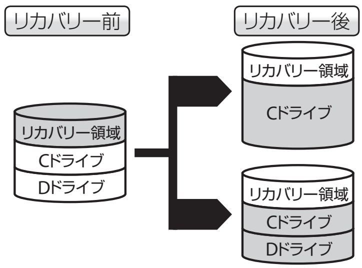


■ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法(リカバリーのタイプ)は、2つの方法から選択することができます。

①HDDの全体をCドライブとする
ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

②HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする
ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。



この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデーターがすべて消えます。消えたデーターは復旧できないので、あらかじめデーターのバックアップをとりましょう。

ハードディスクリカバリーの手順

本製品にプリインストールされているWindows 7は、ハードディスクリカバリーができます。ハードディスクリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

1. **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。



本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず［スタート］ボタン→［シャットダウン］を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

2. **"ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなりましたら F8 キーを数回押します。**

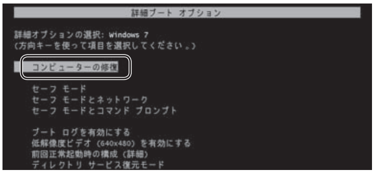
【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度上記手順をおこなってください。

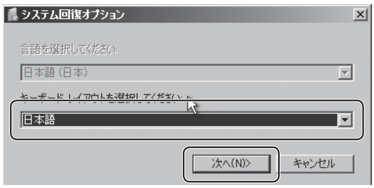
BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. **［コンピューターの修復］を選択して、 Enter キーを押します。**

Windowsが、コンピューターの修復モードで起動します。
起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。



4. **次のように設定されていることを確認してください。**



「言語を選択してください」: 日本語

※既に［日本語］が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード レイアウトを選択してください」: 日本語

確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

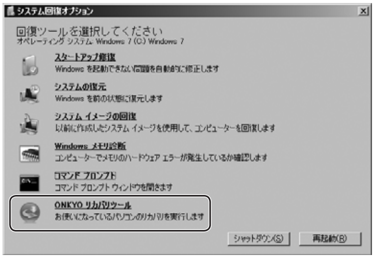
5. **▼をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。**

6. **パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。**

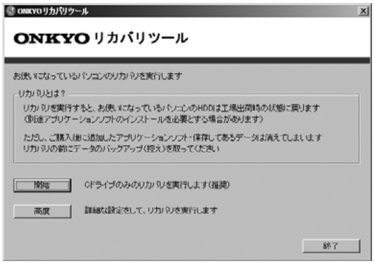


7. 回復ツールの選択一覧から、[ONKYO リカバリツール] をクリックします。

【ONKYOリカバリツール】が起動します。



8. [開始] または [高度] ボタンのいずれかをクリックします。

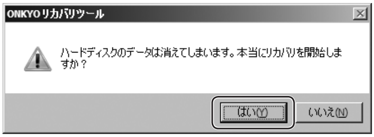


> リカバリーを中止する場合は、[終了] ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので [はい] をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
> [シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

■ [開始] を選択したとき

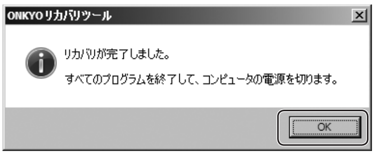
1. [はい] ボタンをクリックします。

リカバリーが開始されます。



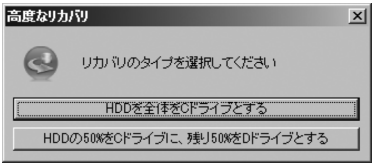
> リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。
> [終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、2ページー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
> [シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

2. [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。

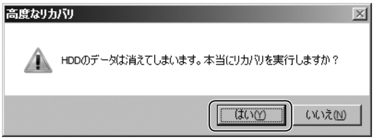


■ [高度] を選択したとき

1. **[HDDを全体をCドライブとする] または [HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする] のいずれかを選択してください。**

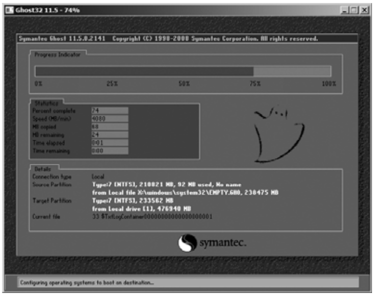


2. **[はい] ボタンをクリックします。**

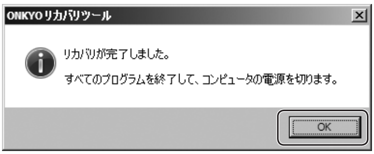


リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。



3. **[OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**



OS選択起動ディスクを利用したリカバリーの手順

OS選択起動ディスクは、ハードディスクリカバリーができない場合、およびインストールするOSを選択する場合に使用します。
Windows 7(32bit)⇔Windows 7(64bit)
Windows 7（32bit)⇔Windows XP（32bit)
OS選択起動ディスクを利用したリカバリーは、以下の手順にしたがっておこなってください。

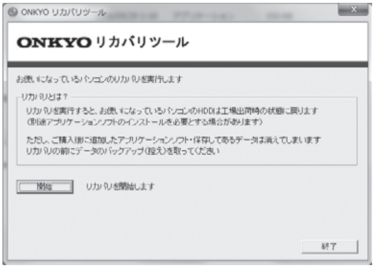
1. **製品の電源をONにします。**

2. **"Windowsロゴ"が表示される前までに、光ディスクドライブに「OS選択起動ディスク」をセットします。**

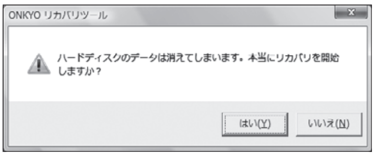
Windowsが起動してしまった場合、再度上記手順をおこなってください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3. **［開始］ボタンをクリックします。**

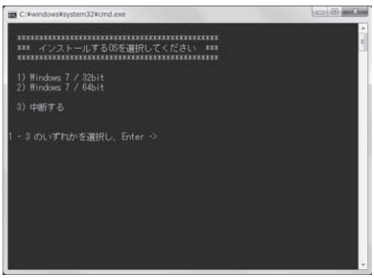


4. **［はい］ボタンをクリックします。**

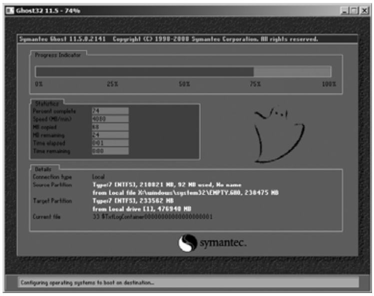


5. **リカバリーするOSを選択して、Enter キーを押します。**

Windows 7 32bitの場合：1キーを押します。
Windows 7 64bitの場合：2キーを押します。



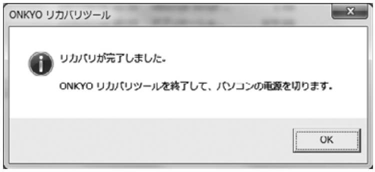
6. 2キーを押します。



リカバリーが始まります。リカバリー実行中は、右の画面が表示されます。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックします。



パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。ユーザーズガイド❶「STEP5 Windows 7をセットアップする」を参照して、セットアップを完了させてください。

402404J DC10-Z9999-07A